地域のチカラ～今、私たちにできる

お家でできるボランティア活動をやってみよう

荒川ボランティアセンターが行っている“集めるボランティア活動”

使用済み切手

封筒などについている使用済みの切手。これらは、日本キリスト教海外医療協力会を通じて、換金されています。そのお金は国際医療協力活動に使用されています。

Q.使用済み切手が換金される？

A.切手の種類はとても多く、いろんな切手を集めている方々がいます。切手を集めている方が購入することで「お金」になっているわけです。

食材収集

ご家庭で余ってしまった食材はありませんか？ 社会福祉協議会では、食材の提供も受け付けています。集められた食材は、社会福祉協議会を通じて、区内にある「子どもの居場所・子ども食堂」を始めとする、福祉関係団体などに提供しています。ぜひご協力をお願い致します。また、荒川区では、フードドライブという活動に取り組んでいます。フードドライブは、ご家庭で使用されていない、余ってしまった食材を集めています。ここで、集められた食材も「子どもの居場所・子ども食堂」を始めとする、福祉関係団体などに提供しています。

ベルマーク

文房具やお菓子の箱などについているベルマーク。あいおいニッセイ同和損保を介してベルマーク教育助成財団に送ります。協賛企業から点数分の資金援助があり、被災してしまった小中学校の教材や、設備のためのお金として使用されています。

Q.どうしてベルマークが「お金」に変わるの？

A.ベルマークがついている商品。この商品を作っている会社（協賛会社）が、その点数分の資金援助をしているのです。その資金で、学校で使用する教材や備品を扱っている協力会社から必要なものを購入しているのです。

使用済みインクカートリッジ

お家で使っている、家庭用プリンターで使用しているインク。これを使い終わったあと、捨ててしまってはゴミとなってしまいます。実は、インクカートリッジは再利用されています。集められたインクカートリッジは、山梨県にある、障がい者施設に送られます。そこで、メーカーごとの仕分けと清掃が行われています。きれいになったインクカートリッジは、再販売されますが、値段としては安価なものとなります。

再利用することで、ゴミが減り、障がい者施設の仕事となり、安価に販売される、一挙三得の活動となっています。

おうち DE ぼらんてぃあ

チャレンジの夏！ボランティアへのファーストステップ

サマーボランティアスクール 2020

1 活動プログラム集をwebサイトでチェック！

※まだ参加できるプログラムもあります

2 仮登録を行う

①活動プログラム集を読み、参加したいプログラムを決める。

②活動プログラム集に付属する「仮登録用紙」をFAX・E-mail・郵送にて送るか、登録フォームから入力する。

※小中高生は保護者の同意書をお送り下さい。

3 体験キットや体験プログラムの詳細をゲット！

①荒川ボランティアセンターより、決定したプログラムをお知らせします。

②体験に必要な物を用意する。（プログラムにより、体験キットを取りに来て頂くか、またはお送りします。）

※ボランティア保険（300円）の加入は任意です。

<プログラム例>
- ○お家で点字をマスターしよう！
- ○エッセンシャルワーカーへメッセージを送ろう！
- ○高齢者施設へ絵手紙を送ろう！
- ○イベントで使う紙芝居をつくろう！
- ○保育園に飾る動物を折り紙でつくろう！
- ○保育園で使う雑巾をつくろう！
- ○高齢者施設で使う防護服をつくろう！
- ○障がいのある方へ誕生日カードを送ろう！

など、いろいろなプログラムを用意しています！
（学年により体験できるプログラムが異なります）

4 ボランティア体験

この夏にできることをたくさんチャレンジ！

体験期間 8/8（土）から8/31（月）

対象｜小学生・中学生・高校生・学生・社会人
参加費｜無料（プログラムにより材料費等がかかる場合があります）
主催｜荒川区社会福祉協議会
後援｜荒川区・荒川区教育委員会
問合せ：荒川ボランティアセンター　TEL０３（３８０２）３３３８